

チュウヒ属 **Harrier**

チュウヒの仲間を総称して“**Harrier**”といいます。**Harrier**の語源は**Harry**=略奪する、から「略奪する者、略奪者」です。チュウヒ (**Harrier**)に限らずすべての猛禽類 (**Raptor**)はある意味では略奪者ですが、何故チュウヒのみが **Harrier** (略奪者) という名称を与えられたかは判りません。

この **Harrier** 属は学名で *Circus*「空中に円を描いて飛ぶ」、という意味のラテン名がついており、いかにもチュウヒの特徴的な低空飛翔をよく表しています。

日本で見られるチュウヒは次の3種類です。

- | | |
|----------|--------------------|
| チュウヒ | — Marsh Harrier |
| ハイイロチュウヒ | — Northern Harrier |
| マダラチュウヒ | — Pied Harrier |

いわゆる「ただチュウヒ」も英名では **Marsh** (沼地、湿地の) **Harrier** となり、その狩猟の場を示しています。バードウォッチャーに人気のあるハイイロチュウヒ (**Northern Harrier**) の **Northern** は「北の、北方の」**Harrier** の意で、その分布がかなり北に偏っていることをしめします。学名は *Circus cyaneus* とあり、*cyaneus*「暗青色、暗灰色の」、とその色を強調しています。マダラチュウヒ (**Pied Harrier**) の **Pied** は、「斑の、雑色の」の意でこの種の配色を表現しています。学名の *Circus melanoleucos* もまたその配色の特徴である「黒と白の」チュウヒという意味です。

まだ記憶に新たなフォークランド紛争で活躍したイギリスの **Sea Harrier** という VTOL (垂直離着陸機) は正に「海上の略奪者」とでもいえましょうか。

大宮のハクトウワシ